

ファッション文化専門学校DOREME 実務経験のある教員等による授業科目一覧

学科	クリエイター学科
専攻	ビジネス専攻

授業科目	1年次		実務経験者 科目時間	ページ数
	単位 時間数	実務経験 教員		
服飾造形	36			3
デザイン画	18	○	18	4
デジタルクリエイト	72	○	72	5
ゼミナール	144	○	144	6
パソコンワーク	54			7
ショッププロデュース	18	○	18	8
ファッション販売	36	○	36	9
ファッションビジネス検定	36	○	36	10
キャリア開発	36	○	36	11
卒制ワーク	72			12
インターンシップ	90	○	90	13
オープン実習	144	○	144	14
ファッションイベント	68			15
卒業制作	72	○	72	16
計	896		594	

クリエイター学科

ビジネス専攻 1年次 教育課程

教 育 課 程

学科名	クリエイター		履修年次	1
コース名	ビジネス		単 位	2
科目名	服飾造形		授業期間	☒ 前期 ☐ 後期 ☐ 通年
担当教員名	阿部 瑠璃子		☒ 必修 ☐ 選択	
授業方法	講義	☒ 演習 ☐ 実習	授業時間数	36
実務教員	×			
授業の到達目標 及びテーマ	人に見せられる作品制作技術の習得。			
授業の概要	リメイク作品制作。			
授業計画	前期	4月	リメイク作品制作	
		5月		
		6月		
		7月		
		8月		
		9月	↓	
	後期	10月		
		11月		
		12月		
		1月		
		2月		
		3月		
		教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する	
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題、実技60％ 出席率20％ 授業態度20％			

教 育 課 程

学科名	クリエイター		履修年次	1	
コース名	ビジネス		単 位	1	
科目名	デザイン画		授業期間	前期	後期 通年
担当教員名	北澤 春江			必修	選択
授業方法	講義 演習 実習		授業時間数	18	
実務教員	○	ミカレディ(株)、(株)一珠、(株)ジョゼにてファッション衣料の企画、デザインを担当。以降本校で長年デザイン画を教授している。			
授業の到達目標 及びテーマ	デザイン画のレベルを上げ、様々なファッションビジネスシーンで活かしていく				
授業の概要	テーマに沿ったデザイン画を描けるようにする デザインバリエーションの演習				
授業計画	前期	4月			
		5月			
		6月			
		7月			
		8月			
		9月			
	後期	10月	卒業制作に向けてのデザイン画考案		
		11月	卒業制作のデザイン画バリエーション		
		12月	卒業制作のデザイン画バリエーション		
		1月	卒業制作のデザイン画バリエーション		
		2月	修了課題		
		3月			
教科書・参考書等		必要に応じて、その都度提示する			
評価方法		A～D・E 評価 評価基準：出席率50％ 課題50％			

教 育 課 程

学科名	クリエイター			履修年次	1		
コース名	ビジネス			単 位	4		
科目名	デジタルクリエイト			授業期間	前期	後期	通年
担当教員名	菅野 一磨			必修 選択			
授業方法	講義	演習	実習	授業時間数	72		
実務教員	○	(株)カワノにて販売、VMDを経験。実際に店頭POPやポスターなどを制作していた講師が売れる商品の作り方、PR方法を教授する。在学中にデザイン画について専門的に学び、イラストデザインを提供していた経験も持つ。					
授業の到達目標 及びテーマ	i-padを使用し、ネット販売や商品企画に必要なアプリを一通り使えるよう、応用を学ぶ。						
授業の概要	i-padのアプリ、主にプロクリエイトを使用し、画像編集、動画制作、デザイン制作が出来るように実技を踏まえて学ぶ。						
授業計画	前期	4月	授業予定や目標				
		5月	デザインとは				
		6月	画像編集				
		7月	↓				
		8月	↓				
		9月	動画制作				
	後期	10月	↓				
		11月	デザイン企画				
		12月	↓				
		1月	応用実践				
		2月					
		3月					
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する						
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50％ 課題50％						

教 育 課 程

学科名	クリエイター			履修年次	1	
コース名	ビジネス			単 位	8	
科目名	ゼミナール			授業期間	前期	後期 通年
担当教員名	菅野 敦子/西條 綾子			必修 選択		
授業方法	講義 演習 実習		授業時間数	144		
実務教員	○	銀座三愛（現(株)Ai）にて商品企画、マーチャンダイザーを担当した教員が、アパレル産業の実状やショップ、ブランドのあり方を教える。				
授業の到達目標 及びテーマ	ファッションビジネスまたはアート出店への実学。					
授業の概要	フリーマーケット出展企画を通して、出店の仕組みを学ぶ。卒業制作としてオリジナルブランドを企画、制作をし、ファッションセンスや縫製技術を向上させる。					
授業計画	前期	4月	フリーマーケット実習			
		5月	オリジナルTシャツ制作 委託商品の募集			
		6月	企画から制作、仕入れ、管理、販売の流れを学ぶ			
		7月	私の世界観(夏季課題)			
		8月	リアルマーケティングリサーチ			
		9月	卒業制作の企画概要			
	後期	10月	卒業制作 ↓			
		11月				
		12月	▼			
		1月	ファッションイベントに向け、作品のブラッシュアップ			
		2月				
		3月				
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する					
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率25% 課題25% 授業態度25% 実技25%					

教 育 課 程

学科名	クリエイター			履修年次	1		
コース名	ビジネス			単 位	3		
科目名	パソコンワーク			授業期間	前期	後期	通年
担当教員名	西條綾子			必修 選択			
授業方法	講義	演習	実習	授業時間数	54		
実務教員	×						
授業の到達目標 及びテーマ	2年次で学んだイラストレーターを含めたパソコンソフトをより自在に使えるようにし、作品の完成度を上げる。						
授業の概要	卒業制作で企画したオリジナルブランドのルックブックを制作する 3年次の卒業制作発表に向けてグラフィック制作						
授業計画	前期	4月	ルックブック企画・撮影				
		5月	制作				
		6月	制作（できれば学校見学会で配布を目指す）				
		7月	完成・製本				
		8月	卒制企画・グラフィック制作				
		9月					
	後期	10月					
		11月					
		12月	学内発表				
		1月	学外発表準備				
		2月					
		3月					
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する						
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題提出状況 4 0 % 完成度 4 0 % 授業態度 2 0 %						

教 育 課 程

学科名	クリエイター		履修年次	1
コース名	ビジネス		単 位	1
科目名	ショッププロデュース		授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	浅野 喜幸		必修	選択
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	18	
実務教員	○	仙台市内にてICONSというセレクトショップを経営する講師。ICONZは洋服だけでなく人のライフスタイルの中で大切なものを提案するセレクトショップであり、その経営から得た知識、ノウハウを伝授する。		
授業の到達目標 及びテーマ	自分の理想とするショップ像の確立。 自店の強み(武器)を伸ばす。			
授業の概要	自身の求める理想の明確化と現実の比較。ショップ運営のリアルを体験する。 深める。			
授業計画	前期	4月	自店(自分自身)の強みを明確化する	
		5月	ショップコンセプトの確立	
		6月	販売力、販売ロールプレイング、売り場づくり	
		7月	販売力、販売ロールプレイング、売り場づくり	
		8月	ショップの運営について	
		9月		
	後期	10月		
		11月		
		12月		
		1月		
		2月		
		3月		
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する			
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率30％ 課題30％ 実技40％			

教 育 課 程

学科名	クリエイター		履修年次	1	
コース名	ビジネス		単 位	2	
科目名	ファッション販売Ⅱ		授業期間	前期	後期 通年
担当教員名	相田 志		必修	選択	
授業方法	講義	演習 実習	授業時間数	36	
実務教員	○	(株)オンワード樫山の営業、バイヤー、VMDとして活躍した後、office i代表として人材育成に勤しむ講師がファッション業界の様々な知識を教授する。			
授業の到達目標 及びテーマ	ファッション業界の現状と今後を理解することでアパレル業界を知る。 資格を取る為の勉強から資格を取ることを意味を考え達成感を得る。 ファッション販売能力検定2級取得。				
授業の概要	IT社会が拡大する中で、即戦力となる販売力と、コミュニケーション能力を身に付ける。今後必要な情報収集の方法を理解する。				
授業計画	前期	4月	実店舗における販売スタッフの役割 ネットショップとの差別化を図る為に必要なコミュニケーション		
		5月	情報収集の方法と活用方法		
			情報誌、専門紙からトレンドを予測する		
		6月	お客様が求めている販売員とは何かを会話を通して理解する タイプ別コーディネート提案		
		7月	ライフスタイル提案ショップ 服飾雑貨の知識		
		8月	クレームの発生原因と未然に防ぐ方法 クレームが発生した時の対処方法		
		9月	衣服のお手入れの知識。洗濯表示 素材、アイテムの知識		
	後期	10月	配色の知識と色から伝わるイメージ TPOとカラーコーディネーション		
		11月	副資材の知識、サイズの知識 VMDと売場づくり		
		12月	マーケティングの知識 月別MDの手法		
		1月			
		2月			
		3月			
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する				
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50％、課題提出25％、期末試験25％				

教 育 課 程

学科名	クリエイター		履修年次	1	
コース名	ビジネス		単 位	2	
科目名	ファッションビジネス能力検定 2級		授業期間	前期	後期 通年
担当教員名	相田 志		必修	選択	
授業方法	講義	演習 実習	授業時間数	36	
実務教員	○	(株)オンワード樫山の営業、バイヤー、VMDとして活躍した後、office i代表として人材育成に勤しむ講師がファッション業界の様々な知識を教授する。			
授業の到達目標 及びテーマ	アパレルメーカーの物づくりの手順を理解することで、ファッション・ビジネス全体の流通を理解する。現状のファッション業界を知る。 ファッションビジネス検定2級合格				
授業の概要	世界各国のファッションの歴史、日本のファッションビジネスの変遷を学ぶ。ターゲット、マーケティングを理解することで商品が出来るまでの流れを理解する。トレンド情報の収集力を身に付ける。 素材、アイテムの専門知識を学び実践に役立つ知識を身に付ける				
授業計画	前期	4月	世界のファッション史の変遷を理解する。 アパレルにおける創・工・商の役割を学ぶ。		
		5月	各年代ごとの時代とファッションの関連を学ぶ。 ファッション産業構造。アパレル業界の産業と取り巻く環境を知る。		
		6月	小売企業の変遷と今後のファッション業界の方向性を予測する。 形態別商品企画とSPAについて学ぶ。		
		7月	現在のアパレルメーカーの物づくりの手法。 アパレルメーカーの本来の物づくりからOEMとODMへの変化の理由		
		8月	社会背景や経済状況と商品動向の変化。 ファッション情報の収集・分析・予測の重要性。		
		9月	ファッションアパレル流通戦略。 アパレル営業とチャネル管理		
	後期	10月	販売管理とプロモーション戦略。 素材の知識、ディティールの知識、アイテムの知識。		
		11月	アパレルマーチャンダイジングと商品企画段階を学ぶ。 シーズンMD、月別MD計画から商品仕入計画とトレンド予測。		
		12月			
		1月			
		2月			
		3月			
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する				
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率50%、課題提出25%、期末試験25%				

教 育 課 程

学科名	クリエイター		履修年次	1
コース名	ビジネス		単 位	2
科目名	キャリア開発		授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	菅野 麻那		必修 選択	
授業方法	講義 演習 実習	授業時間数	36	
実務教員	○	(株)ファーストリテーリング、(株)三越伊勢丹ホールディングスにてキャリアを積んだ講師が、コミュニケーション能力、社会人基礎力の向上に繋がる講義を行う。チームビルディングや自己分析を行い、アパレル業界で必須の能力を養う。		
授業の到達目標 及びテーマ	就職活動や進路決定への不安を取り除き、全員が進路決定出来る様サポートする			
授業の概要	面接練習、グループディスカッション対策を行い、就職活動への恐怖心を和らげる。就職支援だけでなく、社会人としての教養も養い、卒業へ向けての準備をさせる			
授業計画	前期	4月	履歴書の書き方 受かるエントリーシートとは	
		5月	敬語の使い方 適性検査対策（SPI,一般常識問題） 集団面接対策	
		6月	グループディスカッション対策 個人面接対策	
		7月	グループディスカッション対策 個人面接対策	
		8月	お金に関する学習 （クレジットカード、各種保険、年金、税金、生活費等）	
		9月	将来のキャリア形成について （人生設計、卒業後の目標）	
	後期	10月		
		11月		
		12月		
		1月		
		2月		
		3月		
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する			
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率100％			

教 育 課 程

学科名	クリエイター			履修年次	1
コース名	ビジネス			単 位	3
科目名	卒制ワーク			授業期間	前期 (後期) 通年
担当教員名	西條 綾子			(必修)	選択
授業方法	講義	(演習)	実習	授業時間数	72
実務教員	×				
授業の到達目標 及びテーマ	ゼミナールで実施する学内・学外実習の準備として、制作と個人指導を行う				
授業の概要	学外オリジナルショップの準備・制作 学校見学会オリジナルブランドプレゼンテーション＆ショーの準備・制作 卒業制作学内審査・学外発表の準備・制作				
授業計画	前期	4月			
		5月			
		6月			
		7月			
		8月	卒業制作学内審査の準備・制作		
		9月	〃		
	後期	10月	〃		
		11月	〃		
		12月	〃		
		1月	卒業制作学外発表の準備・制作		
		2月	〃		
		3月			
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する				
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：課題提出状況50 出席状況50				

教 育 課 程

学科名	クリエイター		履修年次	1
コース名	ビジネス		単 位	3
科目名	インターンシップ		授業期間	☒ 前期 ☐ 後期 ☐ 通年
担当教員名	菅野 敦子/西條 綾子		☒ 必修 ☐ 選択	
授業方法	講義	☒ 演習 ☐ 実習	授業時間数	90
実務教員	☐	銀座三愛（現(株)Ai）にて商品企画、マーチャンダイザーを担当した教員が、 アパレル産業の実状やショップ、ブランドのあり方を教える。		
授業の到達目標 及びテーマ	インターンシップを通して、社会へ出る心構えを再確認すると共に、ファッ ション業界の実学を学ぶ			
授業の概要	仙台市内古着店へのインターンシップ、ボランティア活動への参加			
授業計画	前 期	4月		
		5月		
		6月	インターンシップ 学外団体への加入、活動	
		7月		
		8月		
		9月	↓	
	後 期	10月		
		11月		
		12月		
		1月		
		2月		
		3月		
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する			
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率25％ 授業態度50％ 課題25％			

教 育 課 程

学科名	クリエイター		履修年次	1
コース名	ビジネス		単 位	4
科目名	オープン実習		授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	各学科担当者、講師		必修	選択
授業方法	講義	演習 実習	授業時間数	144
実務教員	○	(株)アングローバル、日本毛皮教会理事、ミシンメーカー営業、(株)ユニクロ、(株)三越伊勢丹ホールディングス、(株)AZOTH、Ana Dapuzzoデザイナー、Hanaemori Manuscritデザイナー、Keisuke Kandaデザイナー等が特別講師として講義、ワークショップを行う		
授業の到達目標 及びテーマ	外部講師を招いての特別講義で社会のニーズと専門知識を学ぶ。学生個々やグループでの作品制作を通じて各自の個性を伸ばし、協調性を養う。学外実習や見学と通じ社会のしくみや繋がりを経験する。			
授業の概要	学外講師を招いての特別講義・ワークショップ 学外実習のための準備と制作 企業や文化施設、展示会等の見学、実習			

授業計画	前期	4月	対面式練習(2年) キャリア開発(2年) 校内企業説明会 コミュニケーション(1年)
		5月	ミシン・ロックミシン講習(1年) 特別教養講座(毛皮)(2年)
		6月	フリーマーケット実習(2年) 東京研修旅行(2年) 卒業生による特別講義Ⅰ
		7月	学校見学会用ファッションショー準備と制作 デザイン研究(デザイン造形学科)
		8月	アートフラワー(デザイン造形学科)
		9月	ファッションセミナー 企業研修(ファッションビジネス学科、アーツ&クラフト学科)
	後期	10月	
		11月	卒業生による特別講義Ⅱ
		12月	フォーマルファッション講座(2・3年)
		1月	ファッションイベント準備と制作
		2月	ファッションイベント本番
		3月	キャリア開発(1年)

教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席状況 90% 課題(レポート等) 提出状況 10%

教 育 課 程

学科名	クリエイター		履修年次	1	
コース名	ビジネス		単 位	2	
科目名	ファッションイベント		授業期間	前期	後期 通年
担当教員名	西條 綾子			必修	選択
授業方法	講義	演習	実習	授業時間数 68	
実務教員	×				
授業の到達目標 及びテーマ	縦割り活動であるファッションショー制作を行うことで、他学科の生徒ともコミュニケーションを図り、社会人基礎力に繋げる。主体的に行動する力、コミュニケーション能力を養い、成長に繋げる。				
授業の概要	ファッションショーの制作 演出、モデル、音響、映像、照明、広報、メイク、フィッター等各係に分かれて活動を行う。				
授業計画	前期	4月			
		5月			
		6月	学校テーマ発表		
		7月			
		8月			
		9月			
	後期	10月	卒業制作		
		11月			
		12月	卒業制作審査会		
		1月	ファッションショー作品確定 モデル選考、ショー構成、テクニカル打ち合わせ		
		2月	練習、PR ファッションショー本番		
		3月			
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する				
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率100%				

教 育 課 程

学科名	クリエイター		履修年次	1
コース名	ビジネス		単 位	2
科目名	卒業制作		授業期間	前期 後期 通年
担当教員名	菅野 敦子		必修	選択
授業方法	講義	演習 実習	授業時間数	72
実務教員	○	銀座三愛（現(株)Ai）にて商品企画、マーチャンダイザーを担当した教員が、アパレル産業の実状やショップ、ブランドのあり方を教える。		
授業の到達目標 及びテーマ	卒業制作を悔いのないものにし、学生生活の集大成とする。学内テーマと個人テーマを追求し、メッセージ性の強い作品を作りあげる。			
授業の概要	卒業制作作品のテーマ設定、作品制作、企画書・資料集の作成、プレゼンテーション準備			
授業計画	前期	4月		
		5月		
		6月		
		7月		
		8月		
		9月		
	後期	10月	卒業制作準備	
		11月	卒業制作準備	
		12月	卒業制作準備 評価 1	
		1月	ファッションイベント準備 評価1を受けて修正	
		2月	ファッションイベント準備 発表	
		3月		
教科書・参考書等	必要に応じて、その都度提示する			
評価方法	A～D・E 評価 評価基準：出席率20 % 課題40% 授業態度40%			